

このDMを受け取った、新規参入をご検討・下記のお悩みをお持ちの方へ

- ・既存園で対応しきれない発達障がい児や、グレーゾーンのこどもが増えてきた
- ・現場職員の負担がかなり増えてきている
- ・近隣に児童発達支援の事業所が増えてきたが、本当は自分たちで支援をしたい
- ・やるなら、きちんと実績のある療育を導入したい
- ・療育プログラムの作り方がわからない、何をしたいのかわからない

＼保育園・認定こども園向け／

児童発達支援 立ち上げ解説セミナー

療育内容

運営手法

現場のリアル

がすべてわかる！

「すでに実績のある療育を導入したい」という方も

「人気事業所のプログラムを学んで、自法人の療育を検討していきたい」という方もぜひご参加ください！

6教室延べ**300**名以上の障がい児の未来を支える

キャンセル待ち約200名超の事業所が
考案した「未就学児のための療育プログラム」
その内容や保育事業者が参入する上での
ポイントを徹底解説



株式会社ボディアシスト
運営責任者 森田博文氏

オンラインで手軽に参加可能！人数限定のセミナーの為お早めにお申し込みください

開催日程

2025年 **4月24日**(木) **5月19日**(月) **5月28日**(水)

14:30～17:30 オンライン開催(ログイン開始:開始時刻30分前～)

一般価格

1名様
税抜

20,000円

(税込 22,000円)

会員価格

1名様
税抜

16,000円

(税込 17,600円)

主催

保育園・認定こども園向け 児童発達支援参入セミナー

お問い合わせNo. : 126931



サステナブルな成長を促す。

Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル



当社ホームページからお申込みいただけます。船井総研ホームページ<https://www.funaisoken.co.jp> (右上検索窓に「お問い合わせNo.」をご入力下さい)

126931

特別ゲスト・株式会社ボディアシスト紹介

株式会社ボディアシストのご紹介



ボディアシストは、2007年7月に設立され、家庭教師型指導の「スポーツひろば」を運営してきた。運動が苦手な子どもたちのために長年研究を重ね、段階的指導法を確立し、できないことを「できる！」に変える成功体験を提供することで、自己肯定感を育む活動を続けている。

2012年には、発達障がいのある子どもたちの運動支援を目的とし、放課後等デイサービス「スポーツひろばプレイス」を開設。運動や学習能力の向上に加え、集団生活の中でのコミュニケーション力や社会性を育む療育に取り組み、業界内でも高い評価を得ている。

2021年には、児童発達支援の機能を付加した「スポーツひろばプレイスキッズ」を設立。

ボディアシストの取り組みは、運動×療育の新たな可能性を切り開くモデルケースとして注目されており、発達支援事業の成功事例の一つといえる。

今後も、運動を通じた発達支援を推進し、すべての子どもが成長の喜びを感じられる環境づくりを目指している。



特別ゲスト

株式会社ボディアシスト
運営責任者 森田 博文氏

株式会社ボディアシストのここが凄い！

①6教室延べ300名以上の障がい児を支援！さらに200名以上が契約待ち

独自の身体・脳機能向上プログラムを展開し、6教室(2025年5月に1教室新規オープン)・延べ300名以上の児童に対して支援を提供している。

また、6教室合計210名が契約待機(利用の空き枠待ち)となっており、「数年待たなければいけない状況であっても、通いたい」という保護者も多い。効果のある発達支援の提供により、他事業所との差別化も実現。

施設名	契約者数 (名)	平均稼働率
府中教室	78	91%
八王子教室	55	91%
高田馬場教室	74	90%
天神橋教室	29	94%
長柄教室	29	93%
肥塚教室	40	94%
堺筋本町教室 (2025年5月オープン予定)	-	—

②科学的根拠に基づいた独自の療育プログラムを考案

脳科学専門の大学教授や発達障害専門の小児科医師など、多くの専門家と研究を行い、15年以上積み重ねた知識をもとに、療育プログラムを展開。

実際に、スポーツひろばプレイス・スポーツひろばプレイスキッズの療育プログラムは120以上もの事業所で導入されている。



スポーツひろばプレイスキッズが提供する 「こどもたちの脳機能を活性化する療育」とは

スポーツひろばプレイスキッズでは、幼児期に必要な運動機能を育成し、脳機能を高めることを目的とした療育プログラムを提供しています。

運動を通じて「理解力」「判断力」「コミュニケーション能力」などを養い、生活の質を向上させる療育を提供しています。

運動プログラム

1人ひとりの発達段階に合わせて集団を形成し、運動内容を提供。

集団の中での指示理解や集団参加に必要な社会性やコミュニケーション能力を身につけることができます。脳機能の活性化により、ココロも整えることができます。

①感覚統合

大きな動きやバランス運動を通じて、自分の身体を認識し、適切な力加減や姿勢を学びます。自己コントロール力を高めることで、感情の安定にもつながります。



②コーディネーション運動

手足など多機能を同時に動かす複雑な運動を行うことで、脳機能を活性化し、記憶力や思考力、コミュニケーション能力を向上させるほか、学校体育の習得などに必要な動きのもとを作ることができます。



③学校体育の習得

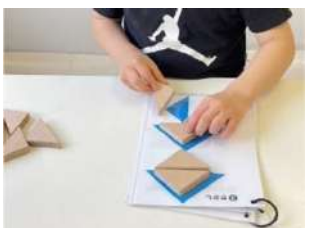
マット運動・跳び箱・走行運動・リズム運動など、学校体育の基礎種目ができるようになることで自己肯定感を高め、体育の授業にスムーズに適応できるようサポートします。



学習プログラム

①視知覚トレーニング

学習に必要な「見る」や「記憶する」などの視覚機能を鍛え、生活に必要な機能も強化。お子さまの状態に合わせたプログラムで、QOLを向上させます。



②学習プログラム

運筆から段階的な指導で、就学に必要なひらがなやカタカナなどの字が読めたり書けたりできるようにしながら、学習の体制も身につけることができます。



高い理念と理想をもって子どもたちに関わってきた法人 だからこそできる “児童発達支援”

子どもの幸せを願い、参入することで
結果的に園の存続・発展・職員の幸せに繋がる！

保育・教育事業者だからこそ児童発達支援を始めるべき理由の一つに、
「経営理念の達成」があります。

児童発達支援事業をはじめることで、対象年齢は0歳から、地域のすべての子どもたちを公平に
預かるという理念実現の達成に貢献できます。

セミナー当日は、実際に児童発達支援の展開で成功されている
株式会社ボディアシストをゲストにお呼びし、療育についてたっぷりと
ご紹介いただきます。またとない機会ですので、
皆様からのお申し込みをお待ちしております。



このセミナーでは何を見る/聞くことができるの？

① 株式会社ボディアシストが運営する 児童発達支援事業の現場の仕組み

- 児童発達支援事業のビジネスモデル
- 月間収支イメージ
- 必要な職員数と採用・育成手法
- 1日の療育の流れ
- 多店舗展開する上でのポイント

② 独自の運動療育プログラム “プレイスキッズモデル”

- 事業所のオンライン視察
- 療育の効果性と概要
- プレイスキッズモデルの詳細
- 療育プログラムの時間配分と設計
- 職員の指導方法

③ 認定こども園・保育園から 参入するメリットと、運営上の違い

- 各業界トレンドの整理
- 収入の仕組み、請求の流れ
- 社会性・教育性・収益性の観点から
見た事業参入のポイント

④ 高稼働率を達成し続けるための 利用者募集施策

- 未就学児の発達支援に対して保護者が
求めていること
- 在園児保護者にアプローチするための
オフライン施策・オンライン施策
- 児童発達支援事業で必要となる訪問
営業の成功ポイント

本セミナーでは、株式会社ボディアシストが運営する事業所の取り組みや、実際の療育の様子をオンラインで手軽に閲覧できるセミナーです。

「参入を検討したいが忙しくて時間がない」
「まずはオンラインで情報収集したい」という方にもおすすめです。

児童発達支援事業の概要

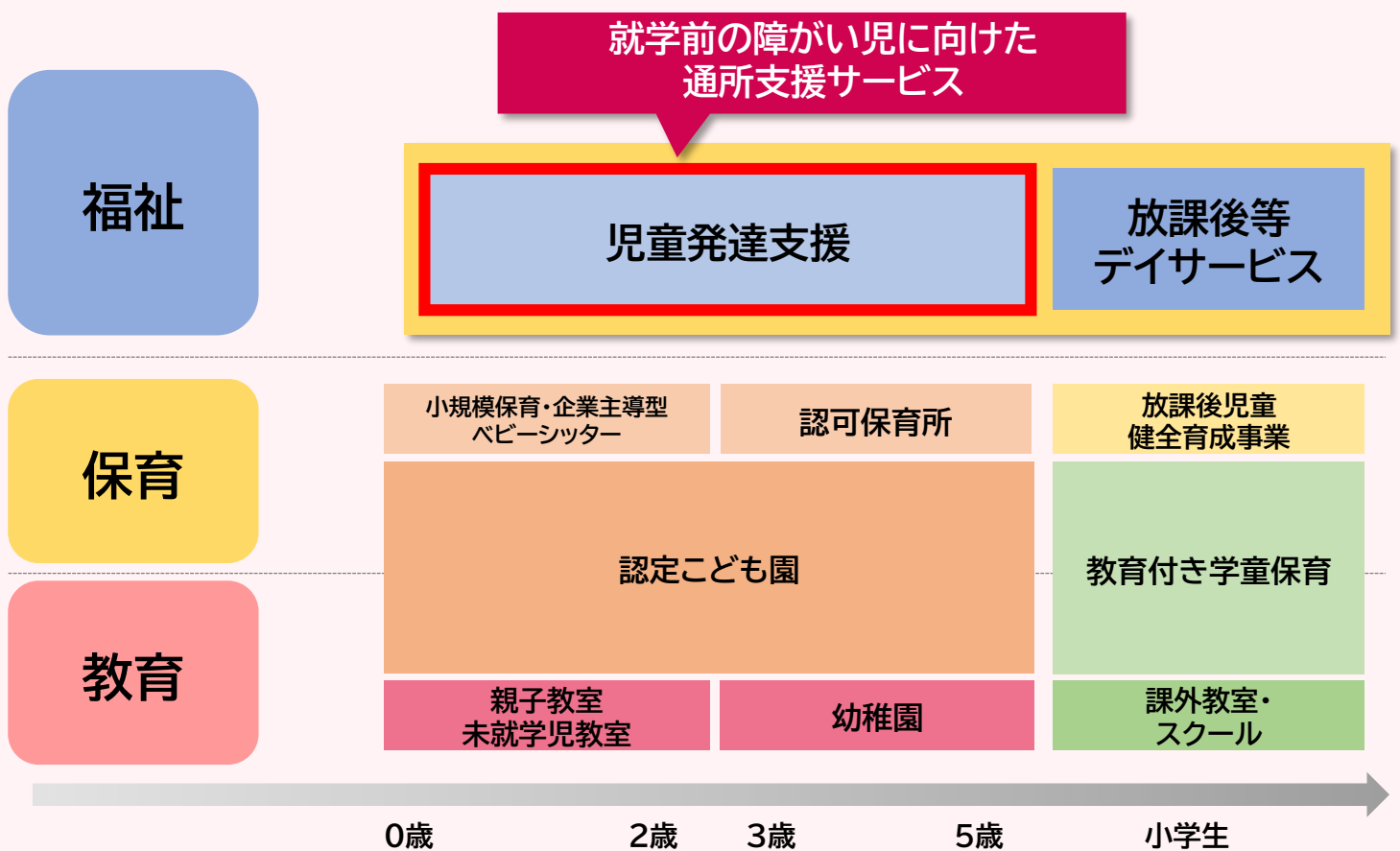
障がい児の数は増え続けています

発達障がいの可能性がある児童生徒は約**10**人に**1**人

文部科学省の調査では、発達障がいの可能性があり特別な支援が必要な小中学生は通常の学級に8.8%、11人に1人程度在籍していると推計されています。

文部科学省の10年前の調査から6.5%増加しており、支援の充実が課題となっています。

保育・教育事業者に必要なすべての要素を網羅する 児童発達支援の位置づけ



保育園・認定こども園事業者が取り組むからこそ、 価値の高い教室になる可能性を秘めています！

既に保育園・幼稚園・認定こども園を運営されている皆様が、児童発達支援に参入することで、自園に在籍している障がい児とその保護者が抱える課題の解決に繋がります。

そして既にある地域のネットワークを駆使し、他園の園児も受け入れることで、在園児にとどまらず地域の子どもたち全体の課題を解決することが可能になります。

発達障がいを抱える子どもが増えている今、法人として一体何をすべきか…

子どもの成長を促すプロフェッショナルである皆様は、障がい児に対しても深いレベルでの療育が可能であり、地域の課題解決を担う可能性を秘めています。

是非、今こそ参入をご検討ください。

船井総合研究所が解説！

障がい福祉サービスに新規参入するうえで重要な3つのポイント

ポイント① すでに在籍している保育士職員の異動による配置も可能

児童発達支援の運営に欠かせない、人材については以下の通りです。

児童発達支援管理責任者・・・

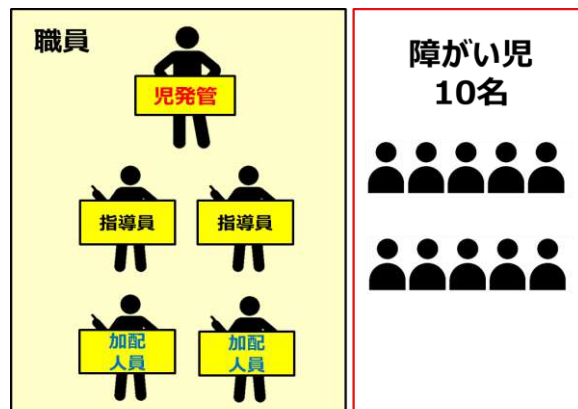
子どもに対する大元の支援の内容を決定する役割があります。
別途研修受講やOJTが必要ですが、保育士経験5年以上で実務要件に該当します。

指導員・・・

子ども10名に対して2名の指導員が必要です。
保育士を配置することができるため、すでに在籍している保育士職員の異動による配置も可能です。

加配・・・

障がい児支援事業で保育士を加配する場合、
収益を最大化させることが可能です。



ポイント② 必要な部屋の広さは？自園の空部屋で指定可能なケースも

児童発達支援には、下記の設備が必要です。

【必要設備】指導訓練室、相談室(静養室)、洗面所、トイレ

指導訓練室に関しては、子ども1人あたり約3㎡の広さが必要になりますが、この基準は指定権者(都道府県もしくは市区町村)によって異なる場合が多いため、必ず確認が必要です。

自園(こども園・幼稚園・保育園)の空部屋で指定を受けることが可能な場合があります。また、上記の設備のほか、実際には送迎や職員の車通勤用の駐車場スペースも必要となります。

左の図は、運動学習特化型の事業所レイアウトのサンプルです。

事業所全体で80～90㎡、機能訓練室は約50㎡、高さ3.5～4m が理想です。



ポイント③ 在園児の誘導には、「保護者説明会」を企画

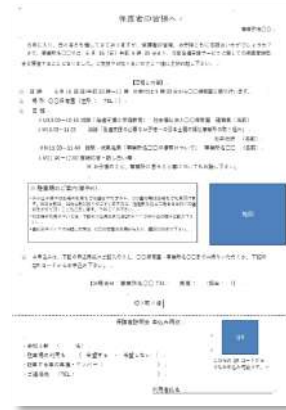
児童発達支援の新規利用者募集の際には、保護者が福祉サービスの存在を理解していないことも多いため、福祉サービスを知るきっかけづくりを定期的に行うことが必要です。

基本的に、園の職員から保護者への個別のアプローチは難しいため、「保護者説明会」や「療育説明会」など、在園児保護者全体に発信するイベントを行い、母数を集めましょう。

また、既存利用者の利用増加を図る際には、「参観日・成長事例発表会」など、利用当初からの成長を事例として発表することで利用者・保護者の満足度が上がるイベントが効果的です。



説明会チラシ例



説明会おたより例

より具体的な新規参入に向けての取り組みや詳細な事例については、
セミナーにて、たっぷりとお伝えさせていただきます。

「新規参入を考えているが、時期や内容は未定」、または
「既存事業所の集客力をUPさせたい」という事業者の皆様へ

法人個別の集中研修で、 児童発達支援の運営に必要な「専門療育」を 導入できるチャンス

「他と差別化できる、商品力のあるサービス内容」を手にする方法
その答えは、数百に及ぶコンサルティング事例と成功モデルの掛け合わせ
にあります。

新規参入するうえで、確実に集客するための「商品」を作ることは、増加の一途を辿る児童発達支援・放課後等デイサービス事業で成功するために必要不可欠です。しかし残念ながら、障がいについての研究と対応策が日夜研究されており、他の事業者も日々療育の研鑽を進めているため、近年参入が増えている**保育園・認定こども園法人**に多い「これまで運営してきた保育園・認定こども園の運営ノウハウを当て込むだけ」の療育では通用しなくなってきています。かつ、競合も増加しているため、明確な差別化にもつながりにくいのが現実です。

船井総合研究所では、今回ご紹介した株式会社ボディアシストの療育モデルをはじめとして、「音楽療育モデル」や「体操モデル」、「学習支援モデル」など、さまざまな療育モデルの研修先をご用意しております。フランチャイズ加盟とは異なるため、屋号を揃える、売上に応じた毎月の加盟料の支払いなどの必要がなく、事業を開始することができます。

私達はこれまで数百に及ぶ児童発達支援の立ち上げ・活性化の経験を持ち、多くの成功事例と失敗事例を蓄積してまいりました。株式会社ボディアシストが努力の末に開発されたような療育内容を研修で体得いただいたのち、集客施策・人材育成・運営施策を掛け合わせることで、より盤石な事業運営につなげることが出来るでしょう。

「一体何から着手すればよいのか?」「うちの法人には一体何が向いているのか」

本セミナーでは、ご参加いただいた方に限定で「無料経営相談」を承っております。このような疑問をお持ちの方はぜひ、無料経営相談をご活用いただければと思います。

最後に、障がい福祉事業専門コンサルタントから皆様へ



株式会社船井総合研究所
福祉・保育グループ
リーダー
金子理彩

ここまでお読みいただきありがとうございました。

これまでに多くの障がい福祉事業者のコンサルティングに関わって参りましたが、サービスの差別化やコンセプト作りに悩まれている方が非常に多いのが現状です。最短で成功するためには、力を入れるべきポイントに専念して、スピード感をもって結果を出すことです。そうすればサービス内容の構築、早期黒字化、そしてスタッフの育成に至るまで、早期に達成することができます。

児童発達支援の展開は、保護者および関係者の望みであり、障がいのあるお子様の将来的な自立へとつなげるために必要不可欠です。

今回のセミナーでは「児童発達支援開所の成功」を実現するための方法をお伝えします。

皆様より先に事業展開をし、順調に業績アップしているゲスト講師をお招きし、たった約3時間で事業展開のポイントがわかるようにセミナープログラムを構成しております。一見の価値があることは間違いありません。

**無料経営相談は、本セミナーにご参加いただいた方限定の特典になります。
セミナーをお聞きになり、ぜひご検討ください!**

第1講座

必要な支援を届け、地域に密着した法人を目指す為に

障がい福祉業界の動向を踏まえ、障がい児支援事業参入のための経営指針を解説します。

- 講座抜粋①：障がい福祉業界動向
- 講座抜粋②：近年、保育・教育事業者が障がい児支援に参入している理由
- 講座抜粋③：障がい福祉業界の時流から考えられる、“いま、求められている障がい児支援事業”とは

株式会社船井総合研究所
福祉・保育グループ
金子理彩



第2講座

こどもの成長を促す独自の療育プログラム解説

契約待ち多数！地域に求められる児童発達支援・放課後等デイサービスの運営を実現している株式会社ボディアシスト スポーツひろばプレイス統括責任者 森田氏より、現場での療育動画の解説とともに、独自の療育プログラム内容とその成果について詳しくお話しいたします。

- 講座抜粋①：感覚統合を用いた運動療育、ビジョントレーニングなどプログラム内容詳細
- 講座抜粋②：契約待ち多数！利用者募集に行っている施策
- 講座抜粋③：職員採用から育成まで、事業運営のポイント

ゲスト講師
株式会社ボディアシスト
運営責任者
森田 博文氏



第3講座

開所から運営まで、児童発達支援事業のポイント解説

400事業所以上の児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げ支援実績を誇る船井総合研究所より、事業の開所の流れや準備について、実際に使ったツール類等も紹介しながら解説いたします。

- 講座抜粋①：何から始めたら良い!?開業までの実施事項チェックリスト解説
- 講座抜粋②：“新規職員採用”や“既存の園の職員向け研修”の秘訣
- 講座抜粋③：新規問い合わせ数が20名/月を超える集客施策

株式会社船井総合研究所
福祉・保育グループ
金子理彩



第5講座

本日のまとめ

本日のセミナーのまとめと実践に移すために考え方とやり方をお伝えします。

- 講座抜粋①：“今すぐ”実践に移すために、経営者に押さえていただきたい考え方
- 講座抜粋②：情報を持ち帰るだけではなく具体的に実践するための考え方と方法をご紹介
- 講座抜粋③：今すぐ取るべき戦略を考える
- 講座抜粋④：全国のネットワークを駆使し、選ばれる法人を目指す方法

株式会社船井総合研究所
福祉・保育グループ
児玉 梨沙



セミナー参加者限定特典！無料個別相談を開催します！

セミナー終了後、質問や疑問点などに対して個別にお時間を設定させていただきます。今後の採用戦略や事業展開に向けた具体的な内容もその場でお答えさせていただきますので、是非事前にお申し込みください。

開催日時

2025/4/28 (木) オンライン開催 14:30～17:30 (ログイン開始：開始時間30分前～)
2025/5/19 (木) オンライン開催 14:30～17:30 (ログイン開始：開始時間30分前～)
2025/5/28 (木) オンライン開催 14:30～17:30 (ログイン開始：開始時間30分前～)

※講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。

【申込期限】銀行振込み：開催日6日前まで クレジットカード：開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます

参加費用

一般価格:税抜20,000円(税込22,000円) /一名様 会員価格:税抜16,000円(税込17,600円) /一名様

会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

Webのお申込みはQRコードの読み取りが簡単です！

お申込みURL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/126931>

お問い合わせNo S126931



■お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

船井総研セミナー事務局 E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000 (平日9:30～17:30)